

平成27年度

施

政

方

針

「町民の町民による町民のための行政」を目指して

.....  
あなたと創る毛呂山町  
.....

冬が駆け抜け、春の訪れを山々の青さで感じたばかりだというのに、既に6月。夏を思わせる季節となりました。

町民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜びを申し上げます。また常日頃から町政運営に対して、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昭和30年4月1日の旧毛呂山町と川角村の合併から、平成27年4月1日をもって、60年という節目を迎えました。昨年度より進めさせていただいた合併60周年を祝う各記念事業ならびに記念式典に対して、皆さまからのご協力を得ることにより、滞

りなく開催できましたこと、重ねて御礼申し上げます。

この記念すべき年に毛呂山町では「議会の解散」、そして「町長選挙」と「議会議員選挙の同日選挙」という全国的に例のない画期的な大改革が実現しました。

3月議会の最終日（3月25日）に「自らの職を解く」という議員発議による「議会の解散」に対し、議員全員の賛成をもって、町民の長年の願いともいえる同日選挙が実現されました。町を代表いたしまして議員の皆さまに衷心より敬意を表するものです。

そして、4月21日告示、4月26日投票で行われた町長選挙は、厳しい選挙でございましたが、大変多くの皆さまのご支援をいただき、当選の榮に浴することができました。

ご支援をいただいた皆さまに心より感謝を申し上げますとともに、引き続き「町の舵取り役」としての重責に対し、初心を持って取り組む覚悟です。どうぞ変わらぬご指導とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

また、同日執行での町議会議員選挙において当選されました14人の議員の皆さまに、謹んでお祝いを申し上げ、更なる町政発展に対してのご活躍をお祈りさせていただきます。

さて、1期目の4年間を振り返ると、前町政から受け継いだ案件「飯能寄居線バイパス葛貫工区の開通」、「旧川角農協前交差点改良工事」、「ゆずの里保育園新設」、「長瀬駅橋上駅舎完成」、「町立2中学校普通教室へのエアコン導入」、「野久保線開通」と、長年にわたる町にとっての大き

な懸案事項のすべてを完了することができ、動きのある町政運営ができました。これもひとえに町議会のご理解とご支援、そして町民皆さまのご協力の賜物と改めて御礼を申し上げます。



長瀬駅前野久保線開通式

毛呂山町長 井上健次

また、東日本大震災の発生から4年という歳月が経過しましたが、震災直後に立ち上げた「東日本大震災復興支援プロジェクト委員会」の活動において、特に被害が著しかった地区の一つである福島県浪江町への支援を継続することができました。皆さまの温かい心に対して、深く感謝を申し上げます。



浪江町馬場町長を訪問 (H26.10)

昨年の秋に視察した浪江町は、震災から約3年半が経過したにもかかわらず、手つかずの状態のまま住居が取り残され、ただ茫然とするばかりでした。先日、浪江町の馬場町長が毛呂山町に来町され、今までの本町における復興支援活動に対して、心温まる御礼の言葉をいただきました。馬場町長のお話しを聞き、私たちは同じ国民として東日本大震災の被災地に対し、今後も支援活動を継続するべきと決意を強くしました。

## 二期目の取組み

「地方創生」は、町の魅力を高めることだと考えます。今回の町長選挙をとおして、これからの町づくりについて新たな政策・公約を示させていただきます。

その柱となるものは、「自助・共助・公助」からなる「協働のまちづくり」です。これは4年前から変わらないものですが、副題は「あなたが主役の毛呂山づくり」から「あなたが創る毛呂山町」へと、さらに町民皆さまとの協働の町づくりを前面に出させていただくことにしました。

また、「地方創生」のための魅力ある町づくりを進めるためのテーマとして、「遊ぶ」「学ぶ」「暮す」を基本に、「医療」「福祉」「防災」の充実を掲げることにしました。

### 【魅力ある町は遊べる！】

子どもから高齢者まで、笑いは健康の源です。その笑いを産み出すために、公園施設の充実、子ども会への支援、「スポーツ健康都市宣言の本町」に恥じない環境整備、そして軽スポーツ事業のさらなる推進など、町の自然を活かした遊び空間を創出し、観光資源が豊富な毛呂山町の「ふるさと力」を発揮させていきます。

### 【魅力ある町は学べる！】

乳幼児と親の「子育て環境整備」、小・中学校の「教育環境整備」、「スポーツ少年団」などへの支援、大人に対する「生涯学習への環境整備」、高齢者の皆さんへの「高齢大学」と、知らず知らずのうちに「学べる環境」を創出していきます。



子育て支援センター（ゆずの里保育園内）

### 【魅力ある町は暮らしやすい！】

町で行う都市計画道路の整備を見合わせ、当面は生活道路を最優先で整備します。また町内循環バスの土日運行など、利用者の利便性を高めることで、買い物弱者対策や観光施策へつなげます。

企業誘致による雇用の創出を図り、併せて空家問題に取り組みます。また地域コミュニティを推進することで、「暮らしの安心」を確保していきます。

### 【健康は予防医療で安心！】

「かかりつけ医制度」を推進することで皆さんの健康管理と保険医療費の軽減を図ります。かかりつけ医で、日頃の健康チェックを行い、疾病の重症化を防ぎます。そして、もしもの場合は、埼玉医科大学病院などで高度医療を受診するという仕組みを整えます。また、マイレージ事業も併せて行うことで、健康長寿施策が確立できます。

### 【福祉は幾重もの施策で安心！】

幼児から高齢者、そして障がいのある人などに対する「福祉の充実」は、常に最重要課題であり、特に介護や介護予防事業など「どんな時でも、不安な思いをさせない取組」が必要と考えます。「医療と福祉の町もろやま」として、様々な問題に対応できる福祉施策に取り組みます。



町内循環バス「もろバス」



【防災は幅広い施策で安心！】

各区長に防災行政無線の受信機を貸与し、情報伝達系統の確立を図ります。避難場所を電柱に明示することや地域と管轄の消防団、役場職員との連携を強化した防災訓練を実施することで、「想定外」を見据えた防災施策を実現していきます。

以上のような基本的な考え方をもって、1期目に着手した事業についても継続して、皆さまに結果を示す4年間としてまいります。

平成27年度の主な取組

今年度、まずは3月議会で承認をいただいた「町立4小学校の普通教室へのエアコン設置」、「毛呂山中学校大規模改造工事の着手」、「岩井学童保育所を毛呂山小学校のあき教室で運営」、「町道7号線改良工事」、「川角駅周辺整備事業への具体的着手」などを実施します。また、財源を確保しながらにはなりますが、「日化団地北側の踏切拡幅」、「国民健康保険税の個人負担額の減額」を実現していきます。

また、大きな動きをみせている企業誘致事業については工業系・物流系・商業系と幅広く取組み、雇用と税財源を確保できるよう、さらに動

きの見える町政運営に全身全霊をもって取り組んでいく所存です。

里山の自然を活かし、  
人の温かいぬくもりを感じる町へ

この4年間で、驚くほど子どもたちが変わりました。学校もどんどんよくなっています。町から世界で活躍する若者も誕生しました。これから企業が続々とやってきます。道路や下水道などのインフラ整備も進んでいます。毛呂山町の里山資本を守るために山や川も生まれ変わりはじめています。防災施策も近隣自治体と広域化を視野に改革してきました。

毛呂山町が大きく動くことができた背景には、町民皆さまのご理解とご協力があったからこそであり、このような目に見える「結果」が生まれてきたものであると確信しています。これからの「地方創生」の時代においての基本的な要因として、一番大きなものは、何といたっても「人の心」であると考えています。毛呂山町は、決して財源が豊かな町ではありません。そのため国や県による交付金や補助金によって町を運営していく必要があります。

そのためにも、町の魅力を高める施策においてはお金をかけずに毛呂山町が持っている自然を活かしなが

ら、人のぬくもりを感じていただけるような取り組みが必要であると考えます。その考え方は、まさに「里山資本主義」という考え方と合致するものであります。

毛呂山町には、自然がある。湖がある。滝がある。駅が4つもある。大学や高校がある。優れた最先端の病院がある。キャンプ場がある。田畑がある。田舎の素朴さがある。毛呂山町は、そんな様々なアイテムを有する町です。

また、都心から1時間もかからずに訪れることができるという「素晴らしい町」でもあります。そのような町が県内63市町村にあるでしょうか。「里山資本主義」という考え方に基づき、毛呂山町の「地の利」を活かすチャンスが「地方創生」にかかっているものと強く認識しています。

町民の皆さんに「毛呂山町がよくなったなあ」と言っていただけのように、そして毛呂山町を訪れる人たちが「毛呂山町に住みたいね」といっていたできるように職員と一丸となり「まち創り」に取り組んでいく所存です。

どうぞ、町民皆さまの更なるご理解とご協力をよろしく願っています。平成27年度施政方針のご挨拶といたします。

